

2. 指標設定

成果指標	指標名	河川災害の復旧		—	指標の設定理由			
	数値	—			台風等により被災した準用・普通河川の早期復旧のため			
活動指標	指標	a	復旧率	b	c	d		
	数値	目標	100%	目標	目標	目標		

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H22	H23	H24
河川災害の復旧		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H22	H23	H24
a 復旧率	%	100.0 %	100.0 %	84.7 %
		100.0 %	100.0 %	84.7 %
b		—	—	—
		—	—	—
c		—	—	—
		—	—	—
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
特になし
対応（改善点等）

5. 事業費・・・H22～H24（決算額）、H25（予算現額）

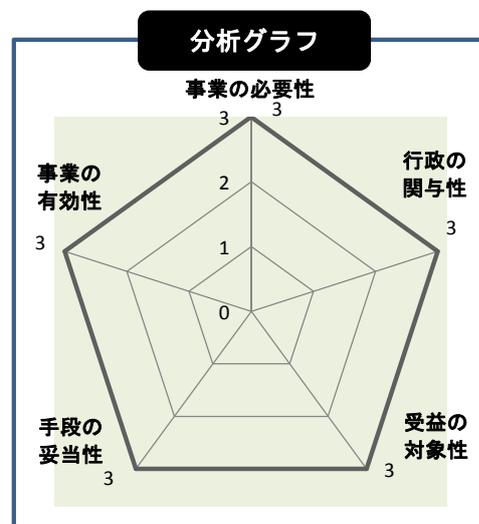
決算額（千円）		H22	H23	H24	H25
		215	18,599	9,942	22,582
うち経常経費		215			
財源内訳	国費		11,679	5,923	13,340
	県費				
	市債		5,800	2,900	6,600
	その他				
	一般財源	215	1,120	1,119	2,642
うち経常		215			
事業費に係る人件費		2,277	5,504	9,962	11,420
事業費に係る人役		0.52	1.28	2.32	2.62

6. H26年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
気象状況により災害発生の予測が不可能である

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 準用・普通河川の災害復旧である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 準用・普通河川の災害復旧である
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 準用・普通河川の災害復旧である
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 成果が上がっている



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	早期対応による復旧を目指すこと。